

平成 3 1 年 3 月 吉 日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校 長 梶 田 和 明

平成 3 1 年度に向けた改善方策

1 「保護者・地域のアンケート回収率を高める努力の継続」について

- (1) 学校だより、学年だより、学校運営委員会だよりを定期的に発行し、学校の教育活動の取り組みを積極的に紹介する。
- (2) アンケート実施の周知期間を早い時期から設定して、学校だよりや学校ホームページの記事で学校関係者評価アンケートを取り上げる機会を増やす。また、アンケート実施期間についても再考する。そして、アンケート配布時に教育活動の取り組みを紹介する補助資料を作成し、配布する。

2 「生徒指導上の課題の克服」について

- (1) 生徒のできているところを認め、望ましい行動を増やそうとする予防開発的な生活指導を全校一丸となって推進し、自ら正しく判断して行動できる生徒を育成する。特に、人間関係形成・社会形成能力を育む構成的グループエンカウンター等の活動を意図的・計画的に実施する。
- (2) 生活指導スタンダードと授業スタンダード連動させた授業改善を全校体制で組織的に共通実践して、授業の充実の基盤となる生徒指導の安定をめざす。

3 「学校教育の一層の理解と協力を得るための広報宣伝活動の充実」について

- (1) 定期発行している学校だより、学校運営委員会だよりを各町会の回覧板に載せて、地域社会に学校の様子を紹介する機会を増やす。
- (2) 学校ホームページの更新をこれまで通り毎日行い、リアルタイムで学校の様子を伝えられるようにする。
- (3) 土曜授業日に授業参観・道徳授業地区公開講座・若竹祭・新入生保護者説明会等の学校を公開する機会を設定したり、保護者会を設定したりすることを通して、保護者が学校に訪れたい機会をより多く設定する。